

新型コロナウイルス感染症（変異株）への対応



厚生労働省 新型コロナウイルス感染症対策推進本部

Ministry of Health, Labour and Welfare

新型コロナウイルス感染症（変異株）のまとめ

一般的にウイルスは増殖や感染を繰り返す中で少しずつ変異していくものであり、新型コロナウイルスも約2週間で一箇所程度の速度で変異していると考えられている。

国立感染症研究所は、こうした変異をリスク分析し、その評価に応じて、変異株を「懸念される変異株（VOC）」と「注目すべき変異株（VOI）」に分類※1している。

1. 懸念される変異株（Variant of Concern : VOC）

主に感染性や重篤度が増す・ワクチン効果を弱めるなど性質が変化した可能性のある株

- B.1.1.7（英国で最初に検出された変異株※2）
- B.1.351（南アフリカで最初に検出された変異株）
- P.1（日本でブラジルからの渡航者に最初に検出された変異株）
- P.3（フィリピンで最初に検出された変異株）

2. 注目すべき変異株（Variant of Interest : VOI）

主に感染性や重篤度・ワクチン効果などに影響を与える可能性が示唆される株

- R.1（E484Kがある変異株）※海外から移入したとみられるが起源不明
- B.1.427/B.1.429（米国で最初に検出された変異株）
- B.1.617（インドで最初に検出された変異株）

※1 国立感染症研究所では、WHOと同様に、変異株をVOCとVOIに分類している。国内での検出状況等を加味することから、分類は各国によって異なる。※2 変異株の括弧内の系統名は、新型コロナウイルスに関して用いられている分類方法であるPangolinによる分子系統 IDによる分類系統名。

新型コロナウイルスの懸念される変異株（VOC）

	主な 変異	感染性 (従来株比)	重篤度 (従来株比)	再感染やワクチン効果 (従来株比)
B.1.1.7 英国で最初に検出された変異株	N501Y	5～7割程度 高い可能性	入院・死亡リスク が高い可能性	効果に影響がある 証拠なし
B.1.351 南アフリカで最初に検出された変異株	N501Y E484K	5割程度高い 可能性	入院時死亡リスク が高い可能性	効果を弱める 可能性
P.1 日本でブラジルからの渡航者に最初に検出された変異株	N501Y E484K	1.4-2.2倍高い 可能性	重篤度に影響があ る証拠なし	効果を弱める可能性 従来株感染者の再感染 事例の報告あり
P.3 フィリピンで最初に検出された変異株	N501Y E484K	高い可能性	重篤度に影響があ る証拠なし	効果を弱める可能性

新型コロナウイルスの注目すべき変異株（VOI）

	主な変異	概要	参考
R.1 E484Kがある変異株	E484K	<ul style="list-style-type: none">国内で海外から移入したとみられるが起源不明感染性に影響を与える可能性がある変異は認められない現在日本で使用されているワクチンの効果を完全に無効化するものとは考えにくい引き続き、ゲノムサーベイランスを通じて実態を把握	国内3,305例、 検疫5例確認 (4/26時点)
B.1.427/B.1.429 米国で最初に検出された変異株	L452R	<ul style="list-style-type: none">2割程度の感染性の増加と治療薬（抗体医薬）の効果への影響が示唆されている引き続き、ゲノムサーベイランスを通じて実態を把握	国内1例、検 疫16例確認 (4/7時点)
B.1.617 インドで最初に検出された変異株	L452R E484Q	<ul style="list-style-type: none">感染性の増加やワクチンの効果に影響を与える可能性が示唆されている株と同じ変異もある現時点で感染性やワクチンへの効果、重症度について影響があるとの証拠は得られていない引き続き、ゲノムサーベイランスを通じて実態を把握	国内1例、検 疫20例確認 (4/26時点)

変異株スクリーニング検査の実施率・陽性率（機械的な試算）速報値

2021/5/4時点

4/19—4/25	新規 陽性者数	合計（①+②）		① 自治体			② 民間検査機関		
		実施率	陽性率	実施 件数	陽性 者数	陽性率	実施 件数	陽性 者数	陽性率
宮城県	320	37 %	10 %	104	9	9%	13	3	23%
埼玉県	1,432	47 %	51 %	157	81	52%	519	267	51%
千葉県	897	36 %	39 %	161	58	36%	161	68	42%
東京都	5,090	41 %	56 %	135	85	63%	1,938	1,078	56%
神奈川県	1,532	29 %	43 %	119	44	37%	324	146	45%
愛知県	1,768	40 %	69 %	420	312	74%	289	177	61%
京都府	960	44 %	82 %	127	104	82%	295	240	81%
大阪府	7,590	37 %	82 %	1,187	959	81%	1,658	1,367	82%
兵庫県	3,472	35 %	86 %	866	737	85%	338	293	87%
沖縄県	630	33 %	42 %	98	39	40%	111	48	43%
全国	32,984	42 %	67 %	7,052	4,867	69%	6,679	4,385	66%

- ※ 1 各報告日時点の集計値を記載しているため、各自治体のホームページ等で公表されている数値と異なる場合がある。 ※ 2 速報値のため、今後、精査が必要な数字である。
 ※ 3 陽性者数に自治体の積極的疫学調査等によって把握した患者が、検査数に過去検体の実績がそれぞれ含まれている可能性がある。地域の感染状況を評価するには注意が必要である。
 ※ 4 民間検査機関の件数は、国立感染症研究所から民間検査会社に委託して実施したもの

(参考) 変異株スクリーニング検査の実施率・陽性率（機械的な試算）時系列

	3/22—3/28		3/29—4/4		4/5—4/11		4/12—4/18	
	実施率	陽性率	実施率	陽性率	実施率	陽性率	実施率	陽性率
宮城県	24%	0%	19%	6%	53%	3%	46%	6%
埼玉県	29%	3%	39%	4%	50%	15%	40%	34%
千葉県	26%	7%	23%	7%	43%	18%	28%	29%
東京都	23%	3%	25%	16%	36%	28%	31%	39%
神奈川県	26%	8%	21%	13%	28%	26%	22%	30%
愛知県	20%	31%	36%	47%	30%	54%	25%	59%
京都府	18%	37%	22%	60%	27%	71%	28%	78%
大阪府	19%	54%	24%	67%	26%	79%	27%	78%
兵庫県	39%	75%	34%	77%	32%	79%	28%	85%
沖縄県	14%	0%	23%	5%	20%	22%	20%	26%
全国	32%	20%	34%	36%	36%	46%	32%	56%

※ 1 各報告日時点の集計値を記載しているため、各自治体のホームページ等で公表されている数値と異なる場合がある。※ 2 速報値のため、今後、精査が必要な数字である。
 ※ 3 陽性者数に自治体の積極的疫学調査等によって把握した患者が、検査数に過去検体の実績がそれぞれ含まれている可能性がある。地域の感染状況を評価するには注意が必要である。
 ※ 4 民間検査機関の件数は、国立感染症研究所から民間検査会社に委託して実施したもの

変異株スクリーニング検査の実施状況 (4/19-25) 速報値

2021/5/4時点

	都道府県	新規陽性者数	実施件数 ①	陽性者数 ②	陽性率% ②/①
1	北海道	889	670	505	75%
2	青森県	177	23	1	4%
3	岩手県	69	14	1	7%
4	宮城県	320	117	12	10%
5	秋田県	47	43	6	14%
6	山形県	110	75	4	5%
7	福島県	213	81	39	48%
8	茨城県	455	217	75	35%
9	栃木県	159	81	29	36%
10	群馬県	243	104	43	41%
11	埼玉県	1,432	676	348	51%
12	千葉県	897	322	126	39%
13	東京都	5,090	2,073	1,163	56%
14	神奈川県	1,532	443	190	43%
15	新潟県	238	153	44	29%
16	富山県	110	122	69	57%
17	石川県	185	120	97	81%
18	福井県	120	96	90	94%
19	山梨県	68	38	30	79%
20	長野県	230	197	93	47%
21	岐阜県	277	36	20	56%
22	静岡県	163	101	53	52%
23	愛知県	1,768	709	489	69%
24	三重県	352	114	108	95%

	都道府県	新規陽性者数	実施件数 ①	陽性者数 ②	陽性率% ②/①
25	滋賀県	317	89	69	78%
26	京都府	960	422	344	82%
27	大阪府	7,590	2,845	2,326	82%
28	兵庫県	3,472	1,204	1,030	86%
29	奈良県	687	223	182	82%
30	和歌山県	255	272	158	58%
31	鳥取県	18	18	17	94%
32	島根県	35	29	29	100%
33	岡山県	387	111	99	89%
34	広島県	266	191	137	72%
35	山口県	166	143	103	72%
36	徳島県	256	82	75	91%
37	香川県	93	78	72	92%
38	愛媛県	237	110	103	94%
39	高知県	27	23	20	87%
40	福岡県	1,390	536	410	76%
41	佐賀県	187	30	28	93%
42	長崎県	178	129	100	78%
43	熊本県	278	125	102	82%
44	大分県	263	67	60	90%
45	宮崎県	88	115	40	35%
46	鹿児島県	60	55	26	47%
47	沖縄県	630	209	87	42%
	全国	32,984	13,731	9,252	67%

※1 各報告日時点の集計値を記載しているため、各自治体のホームページ等で公表されている数値と異なる場合がある。※2 速報値のため、今後、精査が必要な数字である。※3 陽性者数に自治体の積極的疫学調査等によって把握した患者が、検査数に過去検体の実績がそれぞれ含まれている可能性がある。地域の感染状況を評価するには注意が必要である。※4 自治体と民間検査機関（国立感染症研究所から民間検査会社に委託して実施したもの）を合算して算出。

(参考) 変異株スクリーニング検査の実施状況 (3/29-4/4)

	都道府県	新規陽性者数	実施件数 ①	陽性者数 ②	陽性率 ②/①
1	北海道	411	358	142	40%
2	青森県	136	1	0	0%
3	岩手県	96	0	0	0%
4	宮城県	866	166	10	6%
5	秋田県	18	15	6	40%
6	山形県	168	87	0	0%
7	福島県	143	44	0	0%
8	茨城県	225	111	19	17%
9	栃木県	211	129	35	27%
10	群馬県	168	32	1	3%
11	埼玉県	940	368	13	4%
12	千葉県	717	166	11	7%
13	東京都	2,728	678	106	16%
14	神奈川県	863	182	23	13%
15	新潟県	164	98	0	0%
16	富山県	19	12	7	58%
17	石川県	51	32	12	38%
18	福井県	46	34	14	41%
19	山梨県	27	18	4	22%
20	長野県	223	88	2	2%
21	岐阜県	86	77	25	32%
22	静岡県	185	65	4	6%
23	愛知県	656	234	109	47%
24	三重県	135	46	31	67%

	都道府県	新規陽性者数	実施件数 ①	陽性者数 ②	陽性率 ②/①
25	滋賀県	113	54	30	56%
26	京都府	342	75	45	60%
27	大阪府	3,732	910	613	67%
28	兵庫県	1,248	426	326	77%
29	奈良県	287	132	60	45%
30	和歌山県	102	101	59	58%
31	鳥取県	65	45	13	29%
32	島根県	2	2	0	0%
33	岡山県	110	77	63	82%
34	広島県	85	45	26	58%
35	山口県	32	35	10	29%
36	徳島県	69	32	25	78%
37	香川県	112	76	42	55%
38	愛媛県	208	49	38	78%
39	高知県	9	16	14	88%
40	福岡県	204	231	35	15%
41	佐賀県	38	23	3	13%
42	長崎県	18	23	14	61%
43	熊本県	24	21	8	38%
44	大分県	17	14	14	100%
45	宮崎県	14	8	0	0%
46	鹿児島県	43	49	12	24%
47	沖縄県	649	147	7	5%
	全国	16,805	5,632	2,031	36%

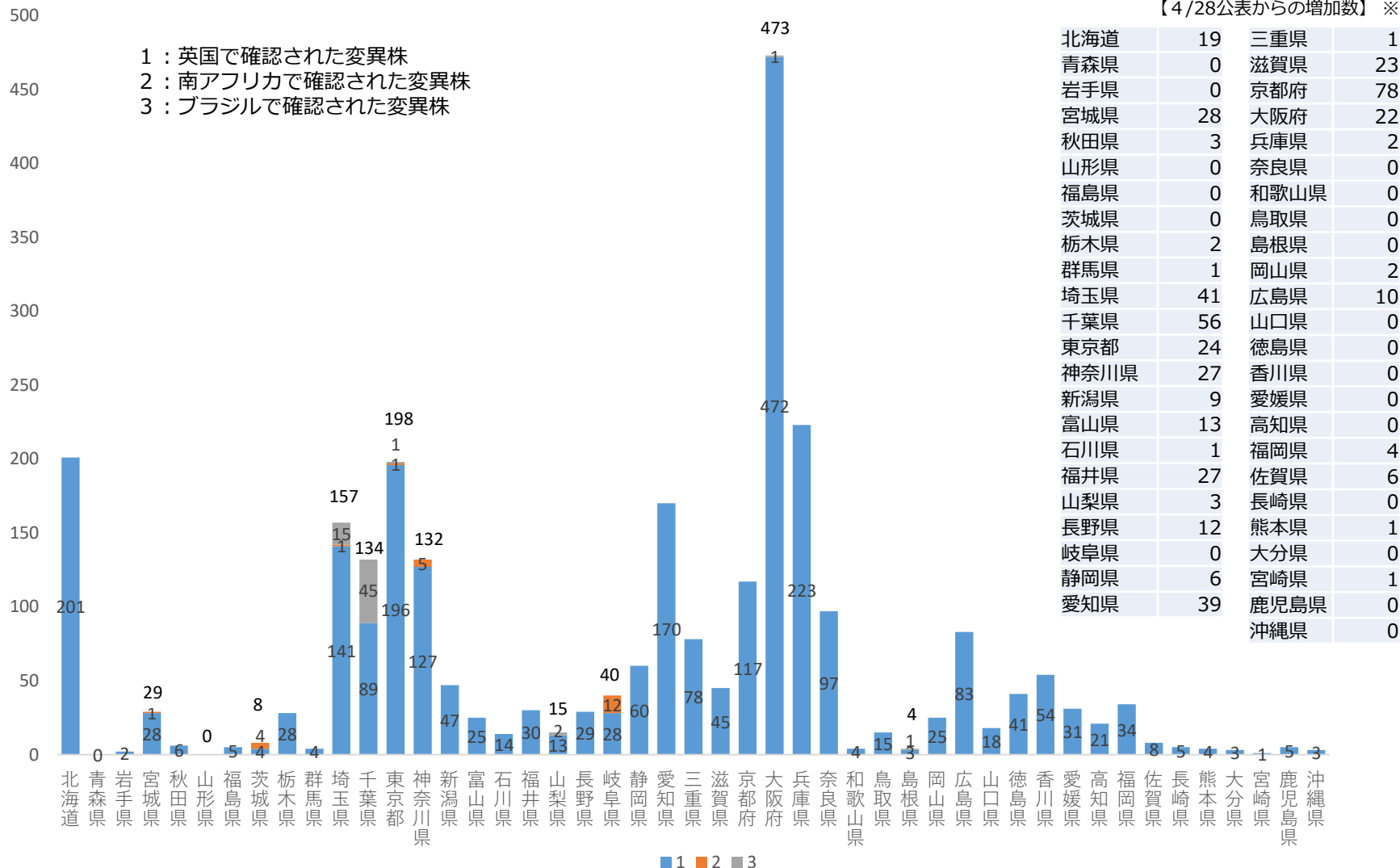
※1 各報告日時点の集計値を記載しているため、各自治体のホームページ等で公表されている数値と異なる場合がある。※2 速報値のため、今後、精査が必要な数字である。※3 陽性者数に自治体の積極的疫学調査等によって把握した患者が、検査数に過去検体の実績がそれぞれ含まれている可能性がある。地域の感染状況を評価するには注意が必要である。※4 自治体と民間検査機関（国立感染症研究所から民間検査会社に委託して実施したもの）を合算して算出。

都道府県別の変異株（ゲノム解析）確認数（HER-SYS）

5月4日時点
 弧内は4/28公表との比較※2

- 国内事例2,726例（+461）、検疫284例（+0）の合計3,010例（+461）を確認 ※1
 - 国内事例のうち、英国2,637例（+457）南アフリカ24例（+2）ブラジル65例（+2） ※2
- ※45都道府県（新たに宮崎県）で確認。

【4/28公表からの増加数】 ※2



※1 国内事例は5/4までにHER-SYSで把握した累計を計上。検疫は4/27までに厚生労働省で把握した累計を計上。

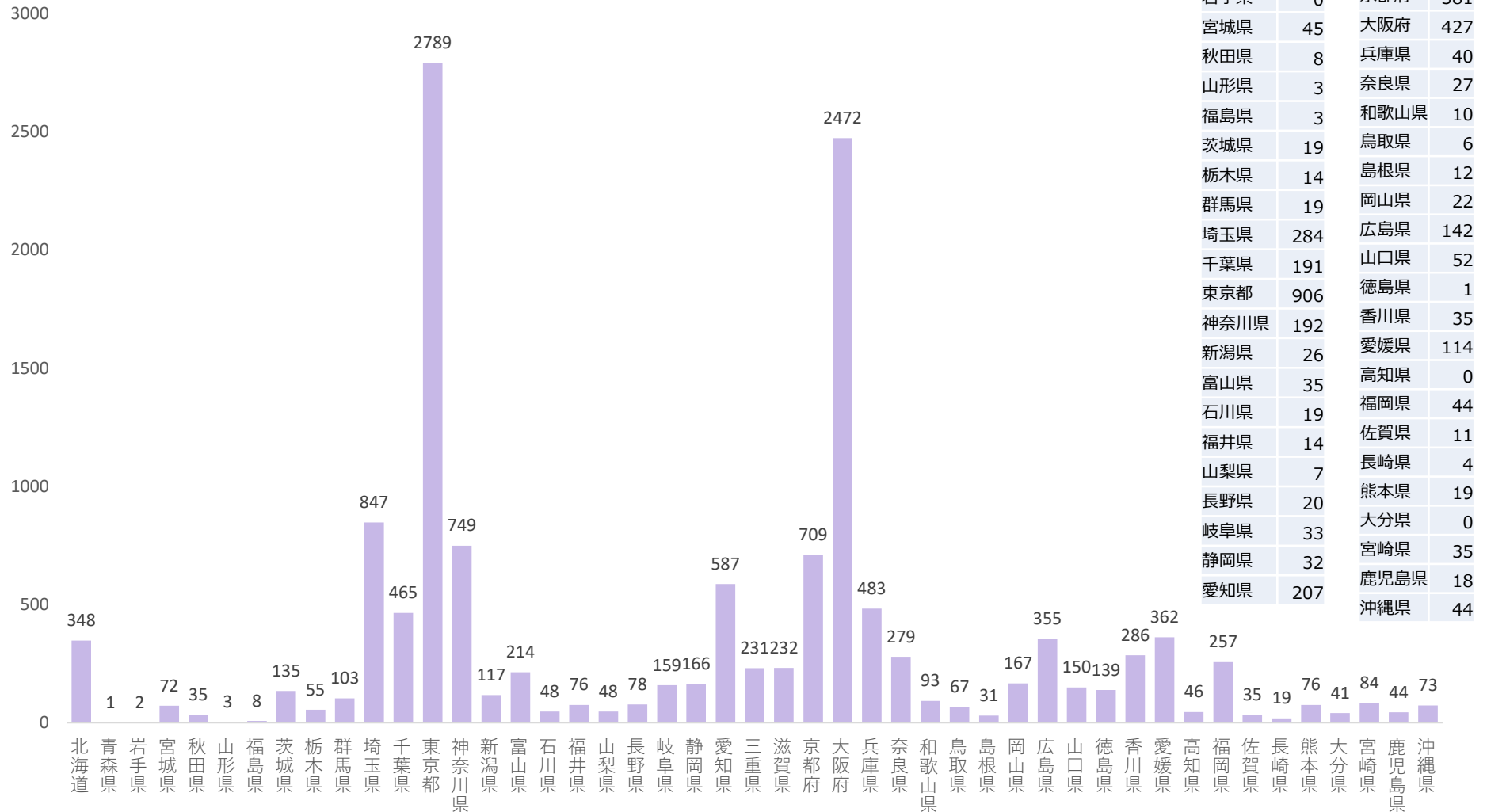
※2 4月28日公表後にHER-SYS上で事例削除・変更等された事例があることから、4月27日時点と5月4日時点との事例数の差分については、負の数となっている場合がある。

都道府県別の変異株PCR陽性者数（HER-SYS）

2021/5/4時点 ※1

【4/28公表からの増加数】※2

変異株PCR陽性者（都道府県別）



北海道	49	三重県	58
青森県	0	滋賀県	106
岩手県	0	京都府	381
宮城県	45	大阪府	427
秋田県	8	兵庫県	40
山形県	3	奈良県	27
福島県	3	和歌山県	10
茨城県	19	鳥取県	6
栃木県	14	島根県	12
群馬県	19	岡山県	22
埼玉県	284	広島県	142
千葉県	191	山口県	52
東京都	906	徳島県	1
神奈川県	192	香川県	35
新潟県	26	愛媛県	114
富山県	35	高知県	0
石川県	19	福岡県	44
福井県	14	佐賀県	11
山梨県	7	長崎県	4
長野県	20	熊本県	19
岐阜県	33	大分県	0
静岡県	32	宮崎県	35
愛知県	207	鹿児島県	18
		沖縄県	44

(参考) 変異株PCR陽性者数 累計13836件 (+3734)
(速報値)

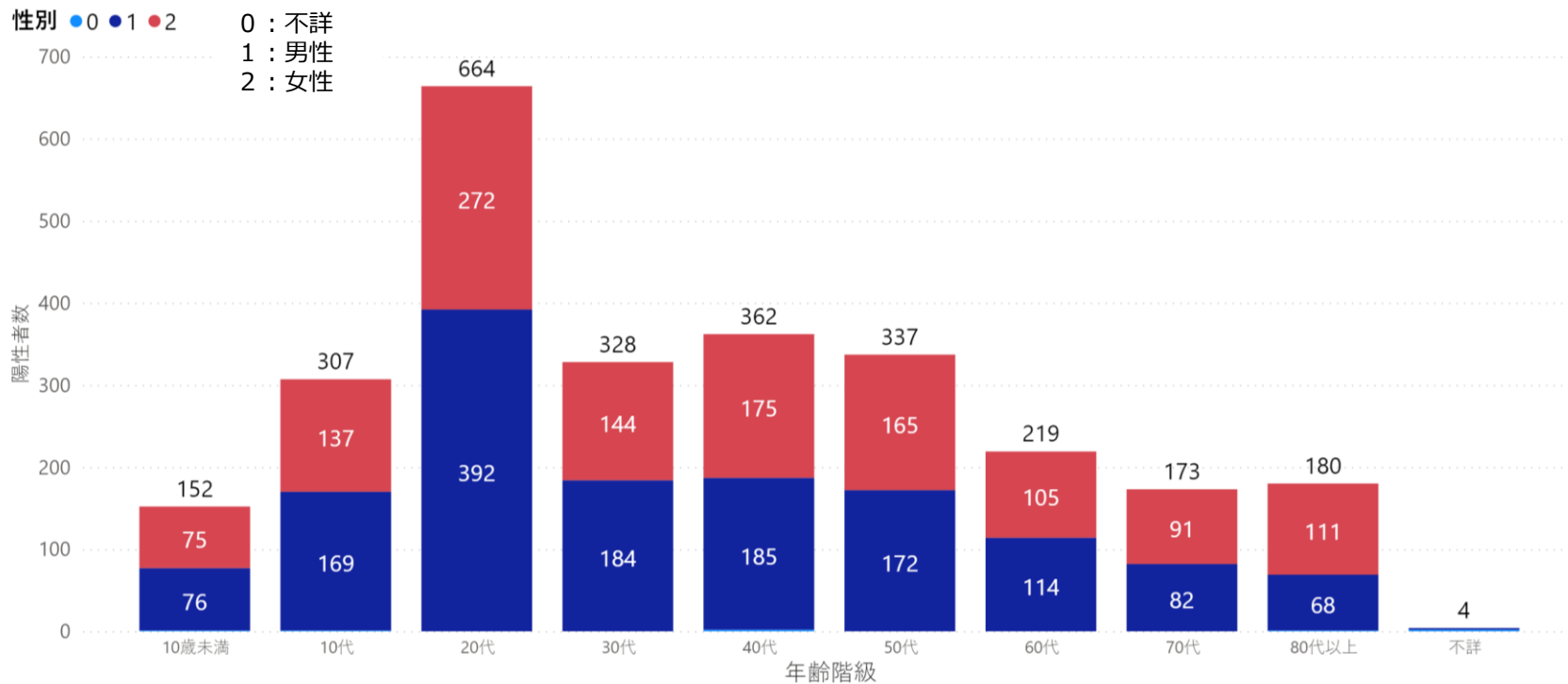
※1 5月4日までにHER-SYSで把握した累計を計上。

※2 4月28日公表後にHER-SYS上で事例削除・変更等された事例があることから、4月27日時点と5月4日時点との事例数の差分については、負の数となっている場合がある。

性別・年代別の変異株（ゲノム解析）確認数（HER-SYS）

2021/5/4時点

【変異株（ゲノム解析）確認数】 n=2726



【変異株（ゲノム解析）の死亡者数】

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
男	0	0	0	0	0	1	3	6	18	28
女	0	0	0	0	1	0	1	3	10	15
計	0	0	0	0	1	1	4	9	28	43

※自治体においてHER-SYSに入力があったものを集計。変異株の種別が「その他」又は未入力のものを除く。
 ※死亡者数は、新型コロナウイルス感染症の死亡者数の内数

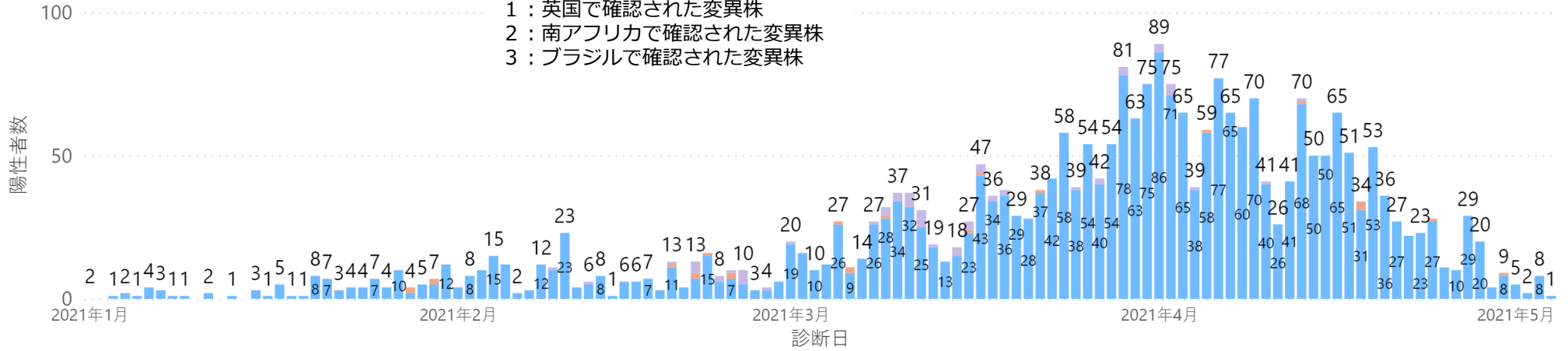
診断日別の変異株（ゲノム解析・変異株PCR検査）確認数（HER-SYS）

2021/5/4時点

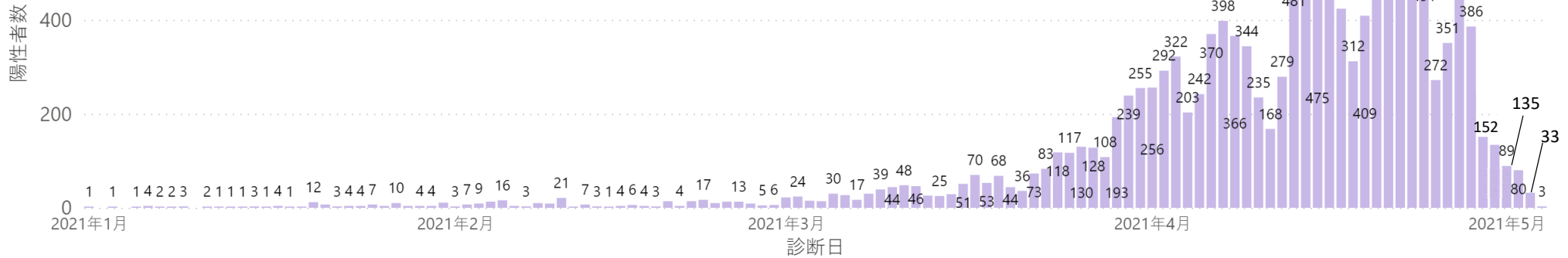
【ゲノム解析結果】

● 1 ● 2 ● 3

- 1：英国で確認された変異株
- 2：南アフリカで確認された変異株
- 3：ブラジルで確認された変異株



【変異株PCR検査】



※自治体においてHER-SYSに入力があったものを集計。ゲノム解析結果については、変異株の種別が「その他」又は未入力ものを除く

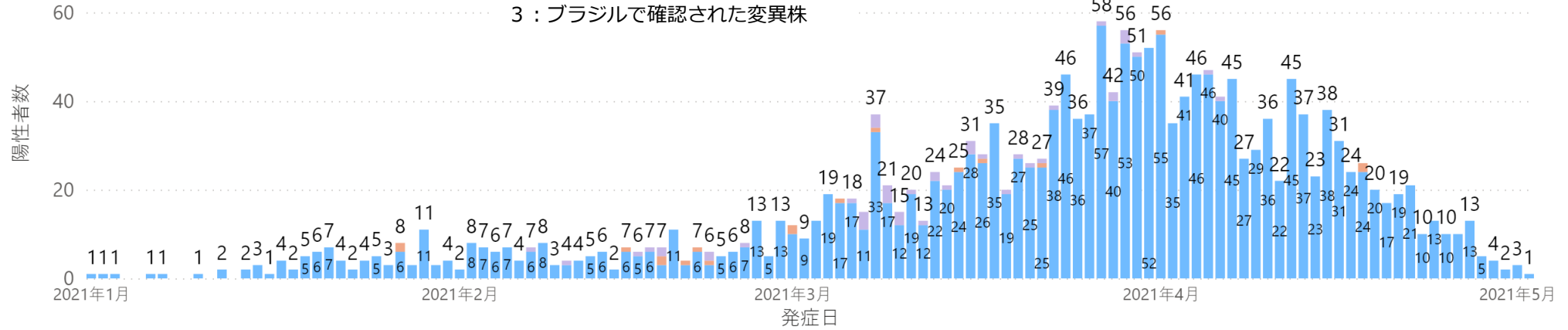
発症日別の変異株（ゲノム解析・変異株PCR検査）確認数（HER-SYS）

2021/5/4時点

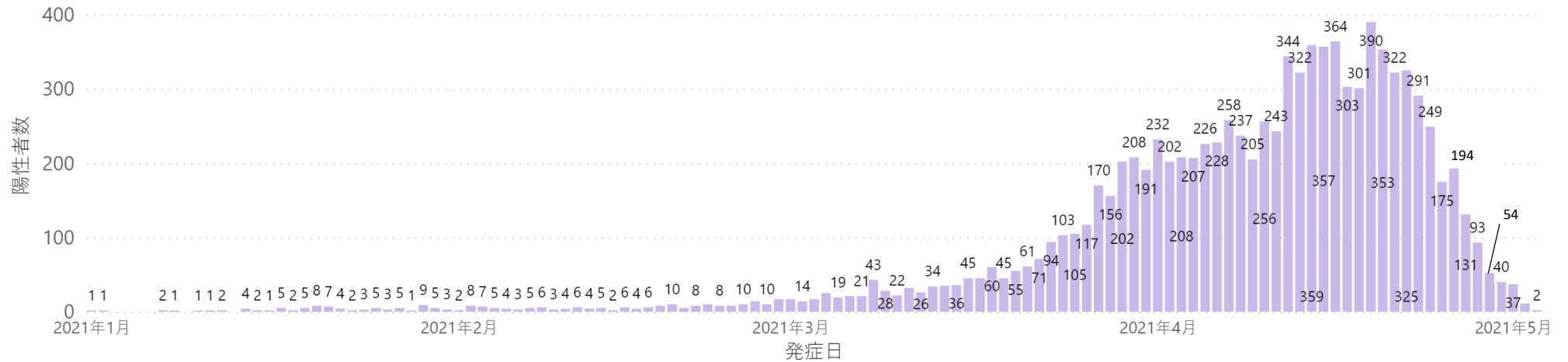
【ゲノム解析結果】

● 1 ● 2 ● 3

- 1：英国で確認された変異株
- 2：南アフリカで確認された変異株
- 3：ブラジルで確認された変異株



【変異株PCR検査】



※自治体においてHER-SYSに入力があったものを集計。ゲノム解析結果については、変異株の種別が「その他」又は未入力のものを除く

今後の変異株スクリーニング体制（案）

現状・課題

1. N501Y変異を検出する変異株スクリーニングは、**英国で最初に検出された変異株（B1.1.7）を想定して早期の感染拡大防止策を行うため**、全国で40%程度まで引き上げを実施。
2. 関西では従来株からB1.1.7に置き換わったと推定されている。他地域でも上昇傾向。専門家からは、B1.1.7に置き換わった地域では、**N501Y変異を検出する必要性が低い**との指摘。
3. 感染拡大地域の自治体では、スクリーニング検査が地方衛生研究所等の**業務をひっ迫**させている。
4. 一方で、**他の懸念される変異株への監視体制も検討**する必要。数多い変異株を総合的に監視するためには、**全ゲノム解析**による監視体制とする必要がある。

当面の方針

1. N501Y変異を検出する変異株スクリーニングは、自治体の負担軽減に配慮しつつ、早期に感染拡大防止策を行うため、各自治体において40%程度を維持することを基本とする。
2. ただし、感染拡大地域（ステージ3相当、15人/10万人/週）であって、変異株の陽性割合が高い自治体（8割）については、抽出割合を自治体で判断する運用に改める（**自治体の検査は40%程度を必須とはしない**）
 - ※ このほか、国立感染症研究所の**全ゲノム解析の体制を強化**して、新たな変異株も含め継続的な監視を行う。国立感染症研究所から自治体への**全ゲノム解析の技術移転を進め、自治体による全ゲノム解析を推進**する。

置き換えが更に進んだ後の方針

1. 国立感染症研究所の見解を踏まえ、**全ゲノム解析**を自治体及び民間検査機関の検体を合わせて**地域に偏りがないよう全国的に5-10%程度実施**し、迅速かつ定期的に情報を公開。
2. その上で、B1.1.7以外の他の懸念される変異株のスクリーニングが必要になった場合に、迅速に対応できるよう**自治体等で40%程度の検体を早期に収集できる体制は維持**する。
 - ※ 南アフリカで最初に検出された変異株などの懸念される変異株を検出するためのスクリーニングの実施の必要性については、感染数の減少傾向が明らかになる局面に向けて、検討を進める。

	3/29-4/4								4/5-4/11								4/12-4/18								4/19-4/25															
	① 新規 感染者数	② 変異株 PCR検査 実施件数 (自治体 +民間検 査機関)	自治体 (実施件 数)	③ 民間検査 機関 (実施件 数)	③ 変異株 PCR検査 陽性者 (自治体 +民間検 査機関)	自治体 (陽性者)	民間検査 機関 (陽性者)	②/① 変異株 PCR検査 実施率	③/② 変異株 PCR検査 陽性率	① 新規 感染者数	② 変異株 PCR検査 実施件数 (自治体 +民間検 査機関)	自治体 (実施件 数)	③ 民間検査 機関 (実施件 数)	③ 変異株 PCR検査 陽性者 (自治体 +民間検 査機関)	自治体 (陽性者)	民間検査 機関 (陽性者)	②/① 変異株 PCR検査 実施率	③/② 変異株 PCR検査 陽性率	① 新規 感染者数	② 変異株 PCR検査 実施件数 (自治体 +民間検 査機関)	自治体 (実施件 数)	③ 民間検査 機関 (実施件 数)	③ 変異株 PCR検査 陽性者 (自治体 +民間検 査機関)	自治体 (陽性者)	民間検査 機関 (陽性者)	②/① 変異株 PCR検査 実施率	③/② 変異株 PCR検査 陽性率	① 新規 感染者数	② 変異株 PCR検査 実施件数 (⑦+④)	⑦ 自治体 (実施件 数)	④ 民間検査 機関 (実施件 数)	(⑦/①) 自治体実 施率	(④/①) 民間検査 機関実 施率	③ 変異株 PCR検査 陽性者 (⑤+⑥)	⑤ 自治体 (陽性者)	⑥ 民間検査 機関 (陽性者)	(⑤/⑦) 自治体陽 性率	(⑥/④) 民間検査 機関陽 性率	②/① 変異株 PCR検査 実施率	③/② 変異株 PCR検査 陽性率
北海道	411	358	358	142	142		87	40	553	346	346		187	187		63	54	601	388	345	43	280	250	30	65	72	889	670	538	132	61	15	505	416	89	77	67	75	75	
青森県	136	1	0	1	0	0	1	0	83	33	29	4	1	0	1	40	3	142	68	58	10	0	0	0	48	0	177	23	13	10	7	6	1	0	1	0	10	13	4	
岩手県	96	0	0	0	0	0	0	-	48	13	12	1	0	0	0	27	0	27	22	21	1	0	0	0	81	0	69	14	13	1	19	1	1	1	0	8	0	20	7	
宮城県	866	166	120	46	10	8	2	19	6	665	351	310	41	9	9	53	3	416	193	163	30	11	8	3	46	6	320	117	104	13	33	4	12	9	3	9	23	37	10	
秋田県	18	15	15	6	6	6		83	40	30	32	31	1	8	8	107	25	36	32	31	1	15	14	1	89	47	47	43	41	2	87	4	6	6	0	15	0	91	14	
山形県	168	87	58	29	0	0	0	52	0	164	71	50	21	0	0	43	0	134	86	69	17	2	1	1	64	2	110	75	64	11	58	10	4	4	0	6	0	68	5	
福島県	143	44	29	15	0	0		31	0	202	18	7	11	1	0	9	6	179	65	47	18	5	5	0	36	8	213	81	44	37	21	17	39	14	25	32	68	38	48	
茨城県	225	111	92	19	19	19		49	17	237	121	102	19	42	38	4	51	35	320	167	148	19	63	55	8	52	38	455	217	164	53	36	12	75	59	16	36	30	48	35
栃木県	211	129	121	8	35	34	1	61	27	171	98	76	22	13	12	1	57	13	141	73	55	18	12	9	3	52	16	159	81	54	27	34	17	29	22	7	41	26	51	36
群馬県	168	32	14	18	1	0	1	19	3	150	56	32	24	15	12	3	37	27	220	67	28	39	22	12	10	30	33	243	104	37	67	15	28	43	12	31	32	46	43	41
埼玉県	940	368	76	292	13	5	8	39	4	926	463	81	382	69	18	51	50	15	1,121	444	76	368	153	33	120	40	34	1,432	676	157	519	11	36	348	81	267	52	51	47	51
千葉県	717	166	92	74	11	2	9	23	7	614	267	157	110	48	38	10	43	18	862	238	105	133	70	30	40	28	29	897	322	161	161	18	18	126	58	68	36	42	36	39
東京都	2,728	678	153	525	106	54	52	25	16	3,276	1,168	204	964	328	84	244	36	28	4,105	1,255	177	1,078	493	58	435	31	39	5,090	2,073	135	1,938	3	38	1,163	85	1,078	63	56	41	56
神奈川県	863	182	53	129	23	10	13	21	13	941	268	103	165	71	23	48	28	26	1,331	288	102	186	85	24	61	22	30	1,532	443	119	324	8	21	190	44	146	37	45	29	43
新潟県	164	98	93	5	0	0		60	0	172	121	117	4	5	5	70	4	211	149	147	2	11	11	0	71	7	238	153	150	3	63	1	44	42	2	28	67	64	29	
富山県	19	12	11	1	7	6	1	63	58	91	65	65	0	54	54	0	71	83	102	71	70	1	46	46	0	70	65	110	122	119	3	108	3	69	66	3	55	100	111	57
石川県	51	32	31	1	12	11	1	63	38	96	43	42	1	16	16	0	45	37	134	27	26	1	22	21	1	20	81	185	120	117	3	63	2	97	95	2	81	67	65	81
福井県	46	34	33	1	14	13	1	74	41	41	42	38	4	31	27	4	102	74	72	34	28	6	33	27	6	47	97	120	96	59	37	49	31	90	56	34	95	92	80	94
山梨県	27	18	18	4	4	4		67	22	39	10	10	0	1	1	26	10	43	28	28	0	7	7	0	65	25	68	38	36	2	53	3	30	28	2	78	100	56	79	
長野県	223	88	80	8	2	2	0	39	2	266	133	90	43	21	16	5	50	16	305	112	82	30	21	18	3	37	19	230	197	166	31	72	13	93	86	7	52	23	86	47
岐阜県	86	77	66	11	25	25		90	32	127	60	55	5	37	34	3	47	62	214	55	49	6	26	25	1	26	47	277	36	25	11	9	4	20	16	4	64	36	13	56
静岡県	185	65	36	29	4	2	2	35	6	136	91	62	29	27	17	10	67	30	191	82	54	28	30	18	12	43	37	163	101	68	33	42	20	53	42	11	62	33	62	52
愛知県	656	234	141	93	109	71	38	36	47	987	295	195	100	159	112	47	30	54	1,385	352	153	199	209	85	124	25	59	1,768	709	420	289	24	16	489	312	177	74	61	40	69
三重県	135	46	35	11	31	25	6	34	67	150	82	69	13	67	56	11	55	82	181	103	94	9	92	84	8	57	89	352	114	97	17	28	5	108	92	16	95	94	32	95
滋賀県	113	54	43	11	30	23	7	48	56	118	38	17	21	29	12	17	32	76	242	64	48	16	41	27	14	26	64	317	89	35	54	11	17	69	26	43	74	80	28	78
京都府	342	75	57	18	45	39	6	22	60	524	143	114	29	102	80	22	27	71	643	178	123	55	139	91	48	28	78	960	422	127	295	13	31	344	104	240	82	81	44	82
大阪府	3,732	910	414	496	613	299	314	24	67	5,404	1,392	703	689	1,101	569	532	26	79	7,630	2,048	995	1,053	1,597	731	866	27	78	7,590	2,845	1,187	1,658	16	22	2,326	959	1,367	81	82	37	82
兵庫県	1,248	426	359	67	326	289	37	34	77	1,896	601	489	112	477	397	80	32	79	3,007	833	679	154	712	592	120	28	85	3,472	1,204	866	338	25	10	1,030	737	293	85	87	35	86
奈良県	287	132	118	14	60	58	2	46	45	553	69	39	30	51	30	21	12	74	542	61	39	22	58	37	21	11	95	687	223	102	121	15	18	182	90	92	88	76	32	82
和歌山県	102	101	100	1	59	59	0	99	58	199	167	166	1	71	71	84	43	229	144	142	2	79	78	1	63	55	255	272	266	6	104	2	158	154	4	58	67	107	58	
鳥取県	65	45	44	1	13	13		69	29	24	26	26	0	17	17	108	65	40	37	37	0	32	32	0	93	86	18	18	18	0	100	0	17	17	0	94	-	100	94	
島根県	2	2	2	0	0	0		100	0	3	4	4	0	3	3	133	75	6	5	5	0	4	4	0	83	80	35	29	29	0	83	0	29	29	0	100	-	83	100	
岡山県	110	77	65	12	63	55	8	70	82	188	122	102	20	92	79	13	65	75	271	36	0	36	29	0	29	13	81	387	111	34	77	9	20	99	30	69	88	90	29	89
広島県	85	45	43	2	26	24	2	53	58	76	47	45	2	16	15	1	62	34	149	66	59	7	45	40	5	44	68	266	191	185	6	70	2	137	133	4	72	67	72	72
山口県	32	35	33	2	10	9	1	109	29	23	20	18	2	9	9	87	45	92	46	45	1	27	27	0	50	59	166	143	139	4	84	2	103	100	3	72	75	86	72	
徳島県	69	32	24	8	25	22	3	46	78	107	35	24	11	31	20	11	33	89	210	49	23	26	45	21	24	23	92	256	82	25	57	10	22	75	25	50	100	88	32	91
香川県	112	76	76	42	42	42		68	55	84	82	82	0	62	62	98	76	76	71	71	0	58	58	0	93	82	93	78	78	0	84	0	72	72	0	92	-	84	92	
愛媛県	208	49	46	3	38	37	1	24	78	226	25	24	1	21	21	0	11	84	245	131	127	4	121	117	4	53	92	237	110	106	4	45	2	103	100	3	94	75	46	94
高知県	9	16	15	1	14	13	1	178	88	23	31	19	12	20	14	6	135																							

新型コロナウイルス変異株流行国・地域への指定について

令和 3 年 4 月 2 8 日

1. 「新型コロナウイルス変異株流行国・地域」について、現行の 29 か国・地域（※）に加え、以下の 6 の国・地域を指定し、これらの国・地域に対して、英国及び南アフリカ共和国等と同様の水際強化措置を取ることとします。

- (1) アメリカ（テネシー州、フロリダ州、ミシガン州、ミネソタ州）
- (2) インド
- (3) ペルー

（※）現行 29 か国・地域

アイルランド、アラブ首長国連邦、イスラエル、イタリア、ウクライナ、英国、エストニア、オーストリア、オランダ、カナダ（オンタリオ州）、スイス、スウェーデン、スペイン、スロバキア、チェコ、デンマーク、ドイツ、ナイジェリア、パキスタン、ハンガリー、フィリピン、フィンランド、ブラジル、フランス、ベルギー、ポーランド、南アフリカ共和国、ルクセンブルク、レバノン

2. 上記 6 の国・地域からのすべての入国者及び帰国者については、これまでは自宅等で入国後 14 日間の待機をしていただいていたところですが、今後は、検疫所長の指定する場所（検疫所が確保する宿泊施設に限る）で待機いただき、入国後 3 日目に改めて検査を受けていただくこととなります。その上で、陰性と判定された方については、検疫所が確保する宿泊施設を退所し、入国後 14 日間の残りの期間を、自宅等で待機していただくこととなります。

以上

令和3年2月2日
令和3年4月28日最終改正

変異株流行国・地域に該当する国・地域について

厚生労働省
健康局
結核感染症課
健康課
医薬・生活衛生局
生活衛生・食品安全企画課
検疫所業務管理室
外務省領事局政策課

「水際対策強化に係る新たな措置（8）」（令和3年2月2日）に基づき、外務省及び厚生労働省において確認の都度、指定し公表するとされている国・地域は以下のとおりです。

国・地域	指定日	3.（2）に基づく措置の実施開始日時（日本時間）
アイルランド、イスラエル、英国、ブラジル（アマゾンナス州）、南アフリカ共和国	令和3年2月2日	令和3年2月5日午前0時
アラブ首長国連邦、イタリア、オーストリア、オランダ、スイス、スウェーデン、スロバキア、デンマーク、ドイツ、ナイジェリア、ブラジル（アマゾンナス州を除く）、フランス、ベルギー	令和3年3月2日	令和3年3月5日午前0時
エストニア、チェコ、パキスタン、ハンガリー、ポーランド、ルクセンブルク、レバノン	令和3年3月17日	令和3年3月20日午前0時
ウクライナ、フィリピン	令和3年3月26日	令和3年3月29日午前0時

カナダ(オンタリオ州)、スペイン、フィンランド	令和3年4月6日	令和3年4月9日午前0時
アメリカ(テネシー州、フロリダ州、ミシガン州、ミネソタ州)、インド、ペルー	令和3年4月28日	令和3年5月1日午前0時

水際対策強化に係る新たな措置（８）

令和３年２月２日

1. 新型コロナウイルス変異株流行国・地域からの新規入国の一時停止

「国際的な人の往来の再開に向けた段階的措置」（第 38 回新型コロナウイルス感染症対策本部（令和 2 年 6 月 18 日）資料 2）及び「国際的な人の往来の再開等（第 41 回新型コロナウイルス感染症対策本部（令和 2 年 7 月 22 日）資料 3）」に基づき、防疫措置を確約できる受入企業・団体がいることを条件に、双方の取り決めに基づき、例外的に入国を認め（レジデンストラック）、14 日間の自宅待機期間中も行動範囲を限定した形で行動制限を一部緩和（ビジネストラック）し、並びに、「国際的な人の往来の再開」（第 43 回新型コロナウイルス感染症対策本部（令和 2 年 9 月 25 日）資料 4 の 1（2））に基づき、防疫措置を確約できる受入企業・団体がいることを条件に、原則として全ての国・地域からの新規入国を許可してきたところであるが、引き続き、当分の間、これらの仕組みによる新型コロナウイルス変異株流行国・地域（以下「変異株流行国・地域」という）からの新規入国を拒否する。

2. 変異株流行国・地域への短期出張からの帰国・再入国時における特例措置の一時停止

「国際的な人の往来の再開」（第 44 回新型コロナウイルス感染症対策本部（令和 2 年 10 月 30 日）資料 5 の 1）に基づき、日本在住の日本人及び在留資格保持者を対象に、全ての国・地域への短期出張からの帰国・再入国時に、防疫措置を確約できる受入企業・団体がいることを条件に、ビジネストラックと同様の 14 日間待機緩和を認めてきたところであるが、引き続き、当分の間、この仕組みによる変異株流行国・地域からの帰国者及び再入国者については 14 日間待機緩和を認めない。

3. 検疫の強化

- (1) 変異株流行国・地域からのすべての入国者及び帰国者について、引き続き、当分の間、出国前 72 時間以内の検査証明の提出を求めるとともに、入国時の検査を実施する。
- (2) 変異株流行国・地域からのすべての入国者及び帰国者に対し、当分の間、検疫所長の指定する場所（検疫所が確保する宿泊施設に限る）での待機を求める。その上で、入国後 3 日目において、改めて検査を行い、陰性と判定された者については、検疫所が確保する宿泊施設を退所し、入国後 14 日間の自宅待機を求めることとする。なお、検査証明を帰国時に提出できない日本人については、帰国後 3 日目及び 6 日目に改めて検査を行い、いずれの検査においても陰性と判定された者については、検疫所が確保する宿泊施設を退所し、入国後 14 日間の自宅待機を求めることとする。

- (注1) 上記1～3に基づく措置の実施に伴い、「水際対策強化に係る新たな措置」(令和2年12月23日)及び「水際対策強化に係る新たな措置(2)」(令和2年12月25日)は、廃止する。
- (注2) 変異株流行国・地域に該当する国・地域は、外務省及び厚生労働省において確認の都度、別添の書式で指定し公表する。
- (注3) 上記1～3に基づく措置は、本邦への帰国日又は上陸申請日前14日以内に変異株流行国・地域における滞在歴のある者を対象とする。
- (注4) 上記3(2)に基づく措置は、令和3年2月5日午前0時(日本時間)から行うものとし、今後指定された国・地域については、指定日の3日後の日の午前0時から実施する。

(以上)